

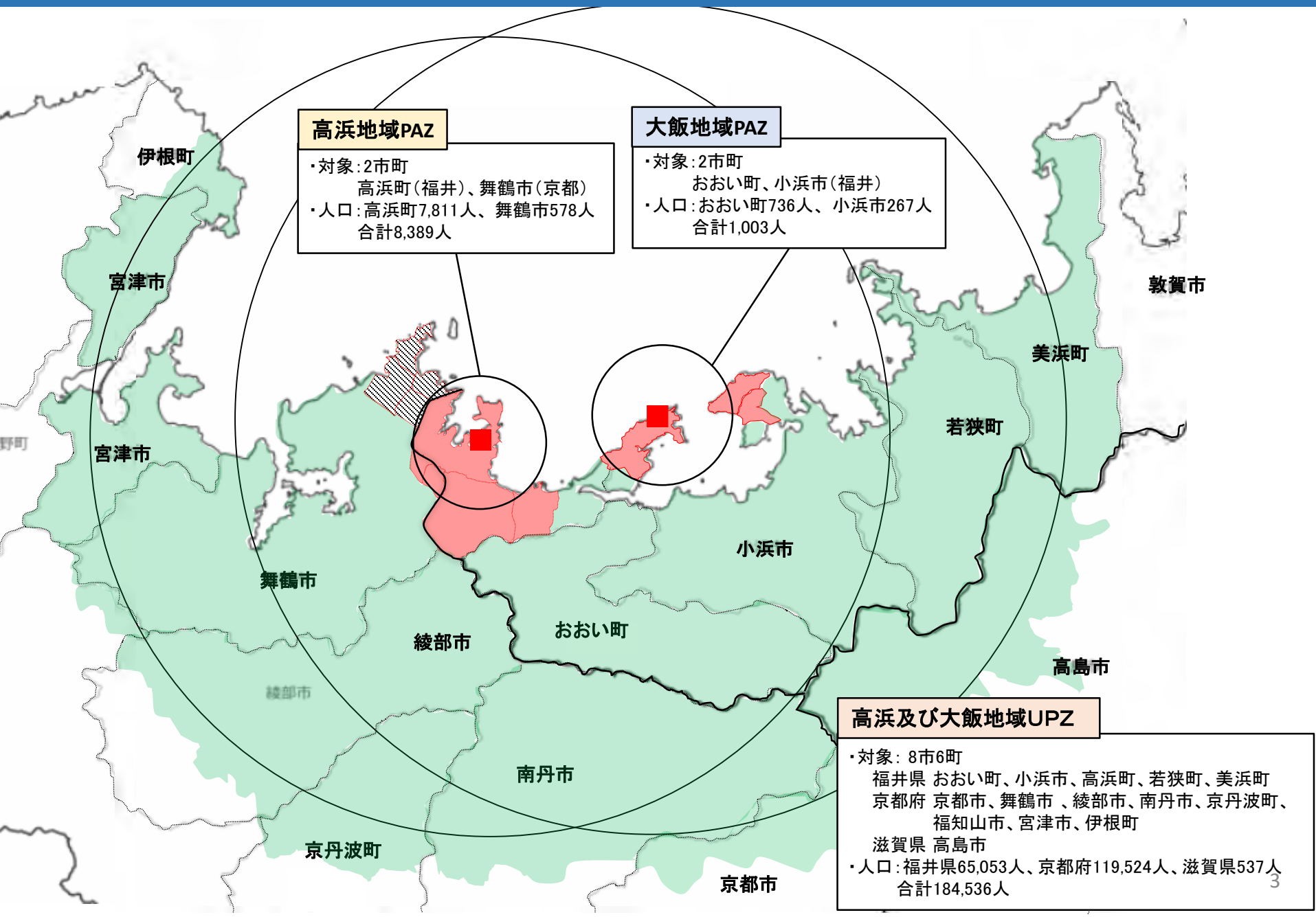
# 大飯地域及び高浜地域の同時発災 時における基本的な考え方(案)

平成30年1月12日時点

## 【基本的事項】

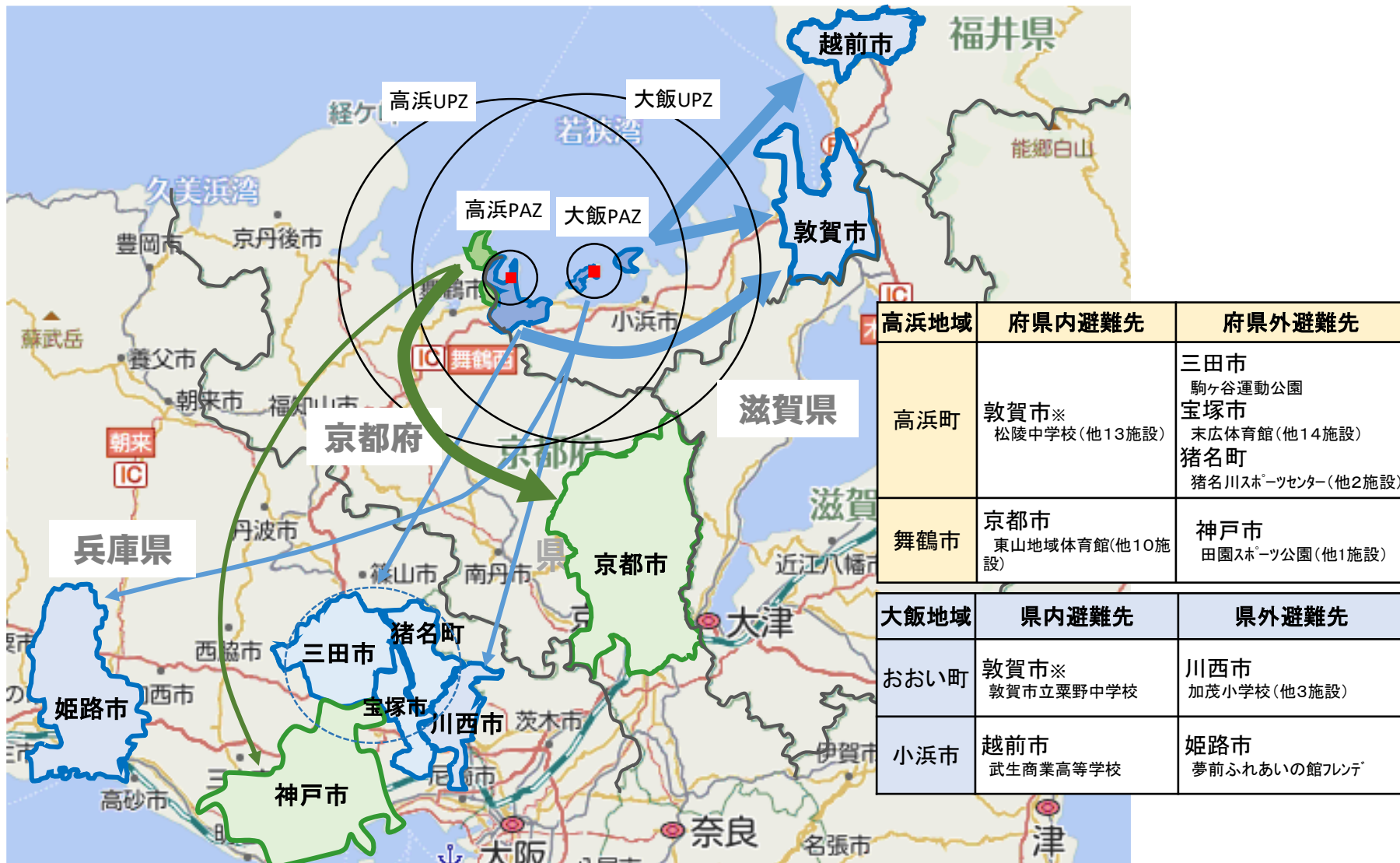
- 高浜地域及び大飯地域は、それぞれ原子力災害重点区域の多くが重なり、地域的にも一体性がある。
- このため、高浜地域及び大飯地域の「緊急時対応」では、あらかじめ府県内外への避難先を重複することなく確保するなど、万が一同時発災した場合でも対応できる計画となっている。
- 万が一同時発災した場合の住民避難などの緊急時の対応では、両地域を一体として取り扱う。

# 原子力災害対策重点区域の概要



# PAZにおける避難先

○ 高浜地域及び大飯地域のPAZの県内避難先及び県外避難先は、重複なく確保済み。



※高浜町及びおおい町のPAZに該当する地域の県内避難先は共に敦賀市であるが、避難先施設を重複しないように確保。

# PAZにおける輸送能力の確保(施設敷地緊急事態)

- 高浜地域と大飯地域全体として、合計必要台数に対し、保有台数は十分足りている。
- 関西電力分の車両のうち、バスが10台、車椅子車両が7台不足するが、バスについては、福井県内バス会社の車両(保有台数187台)により確保し、車椅子車両7台については、関西電力において新たに確保する予定。

①高浜地域		必要台数		
		バス	ストレッチャー仕様	車椅子仕様
計		計70台	計16台	計40台
福井	高浜町、おおい町、小浜市 社会福祉協議会等(3市町)	2台	5台	24台
	バス会社(福井県嶺南地方)	53台	—	—
京都	舞鶴市	3台	1台	—
	バス会社(舞鶴市)、社会福祉施設	2台	1台	—
関西電力		10台	9台	16台

②大飯地域		必要台数		
		バス	ストレッチャー仕様	車椅子仕様
計		計11台	計5台	計10台
福井	高浜町、おおい町、小浜市 社会福祉協議会等(3市町)	—	2台	6台
	バス会社(福井県嶺南地方)	6台	—	—
関西電力		5台	3台	4台

①+②合計		合計必要台数		
		バス	ストレッチャー仕様	車椅子仕様
計		81台	21台	50台
福井	高浜町、おおい町、小浜市 社会福祉協議会等(3市町)	2台	7台	30台
	バス会社(福井県嶺南地方)	59台	—	—
京都	舞鶴市	3台	1台	—
	バス会社(舞鶴市)、社会福祉施設	2台	1台	—
関西電力		15台	12台	20台

保有車両台数		
バス	ストレッチャー仕様	車椅子仕様
287台	79台	126台
13台	10台	60台
187台	—	—
3台	ストレッチャー兼車椅子 6台	3台
79台	42台	59台
5台	ストレッチャー兼車椅子 12台	車椅子専用 4台 ストレッチャー兼車椅子 9台



不足するバス10台は福井県内バス会社にて確保

不足する車椅子7台は新たに関電が購入等する予定

# PAZにおける輸送能力の確保(全面緊急事態)

- 高浜地域と大飯地域全体としての合計必要台数に対し、保有台数は十分に足りている。
- 施設敷地緊急事態において必要となる車両数(5頁参照)が、全面緊急事態となった場合に再活用できないと想定すると、舞鶴市分のバス3台、関西電力分のバス4台が不足するが、これらについては、舞鶴市内のバス会社の車両(保有台数77台)にて3台を確保し、福井県内バス会社の車両(保有台数118台)にて3台、舞鶴市内バス会社の車両にて1台により確保する。

①高浜地域		必要車両台数
		バス
計		計8台
福井	バス会社(福井県嶺南地方)	1台
京都	舞鶴市	3台
	バス会社(舞鶴市)、社会福祉施設	2台
	関西電力	2台

②大飯地域		必要車両台数
		バス
計		計3台
福井	バス会社(福井県嶺南地方)	1台
	関西電力	2台

①+②合計		必要台数
		バス
計		11台
福井	バス会社(福井県嶺南地方)	2台
京都	舞鶴市	3台
	バス会社(舞鶴市)、社会福祉施設	2台
	関西電力	4台

保有車両台数※	
バス	
	274台
	118台
	0台
	77台
	0台

不足するバス3台は舞鶴市内バス会社にて確保

不足するバス4台のうち、京都府民搬送用の1台は舞鶴市内バス会社にて、福井県民搬送用の3台は福井県内バス会社にてそれぞれ確保